

リチウムイオン電池セパレータの コーティングによる機能付与

～電池セパレータの基本的な役割から今後の展望まで～

1名分料金で
2人目無料

◆日時: 2026年03月03日(火) 13:00~16:00

◆【WEB限定セミナー】※会社やご自宅でご受講下さい。

◆受講料: 1名につき49,500円(税込、資料付)

セミナーURLはこちら→ <https://www.rdsc.co.jp/seminar/251238>

会員(案内)登録していただいた場合、通常1名様申込で49,500円(税込)から

・1名で申込の場合、**46,200円(税込)**へ割引になります。

・2名同時申込で両名とも会員登録をしていただいた場合、**計49,500円(2人目無料)**です

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: 帝人(株)コーポレート新事業本部 電池部材・メンブレン部門 次世代材料開発部
部長 帝人グループ技術主幹 西川 聰 氏 【ご専門】電気化学、高分子成形

【受講対象】

・リチウムイオン電池セパレータに関心がある若手技術者

【習得できる知識】

- ・リチウムイオン電池における電池セパレータの基本的な役割
- ・セパレータの評価手法
- ・セパレータコーティング層の機能と電池に与える効果
- ・リチウムイオン電池セパレータの現状と今後の動向

【講演の趣旨】

1991年にリチウムイオン電池は実用化され本電池のセパレータはこのときから現在まで基本ポリオレフィン微多孔膜が用いられているが、電池の高性能化に伴いポリオレフィン微多孔膜へのコーティングで機能層を形成したセパレータが現在の主体になっている。本講においては、ポリオレフィン微多孔膜が最初にセパレータとして適用された背景、コーティング機能層が必要となった理由や役割を中心とした技術内容及びそれを踏まえたコーティング機能層の評価方法を解説し、電池セパレータの将来展望についても言及する。

【プログラム】

1. 導入: 電池とセパレータ

- 1) 電池におけるセパレータの役割
- 2) リチウムイオン電池とセパレータ

2. リチウムイオン電池のセパレータ

- 1) コーティング基材としてのポリオレフィン微多孔膜の特性と評価方法
- 2) コーティングによる機能化の歴史的背景
- 3) 耐熱コーティングとその特性評価
- 4) 接着コーティングとその特性評価

3. 今後のセパレータ開発動向

『LIBセパレータ【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学		
-------	--	--

住 所	〒	
-----	---	--

電話番号		FAX	
------	--	-----	--

お名前	所属・役職	E-Mail
-----	-------	--------

①		
---	--	--

②		
---	--	--

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。	<input type="checkbox"/> Eメール	<input type="checkbox"/> 郵送
--------------------------------	-------------------------------	-----------------------------

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的に受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧下さい。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧下さい。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>